

かみみね 議会だより

181号

●平成29年 第1回定例会(2月)

P2~3 こんなことが決まりました

P4~6 予算特別委員会Q&A

P10~18 そこが聞きたい(一般質問)

P19 議長あいさつ

P20~23 平成29年第1・2回臨時会



落成した 認定こども園 かみみね幼稚園

平成29年2月
定例会で

29年当初一般会計
予算否決!!

こんな
ことが

決まりました

16議案、1 諮問が可決、同意。

平成29年第1回定例議会は2月10日から2月24日までの15日間の会期で開催され、平成28年度補正予算等上程された17議案のうち14議案が原案通り可決、2件の人事案については同意し、1 諮問案については適任と決定し、新年度一般会計予算案については否決されました。

人権擁護委員候補
者の推薦について

氏名 久米 琢馬
年齢 72歳
地区 切通



全員
同意

上峰町防災行政無線施
設の設置及び管理に關
する条例

全員
賛成

地域における住民の生命、財産の安全確
保を目的とし、併せて情報伝達の迅速化を
図るため、防災行政無線施設を設置する。

公布の日から施行し、平成29年4月1日
から適用。

上峰町防災行政無線施設
(同報系)整備事業の請負
変更契約の締結

全員
賛成

平成27年9月定例会で請負金額2億1,2
36万6,000円で議決、承認されていた
ものが戸別受信機の減による減額となりま
した。

請負変更金額

(減額)

207万4,383円

契約の相手方

西日本電信電話株式会社

佐賀支店

教育委員会委員の選任

教育委員会委員に次の方々が再任されました



氏名 江頭 千代美
年齢 55歳
任期 上米多
地区 上米多
期日 平成29年4月1日から平成33年3月31日まで

全員同意



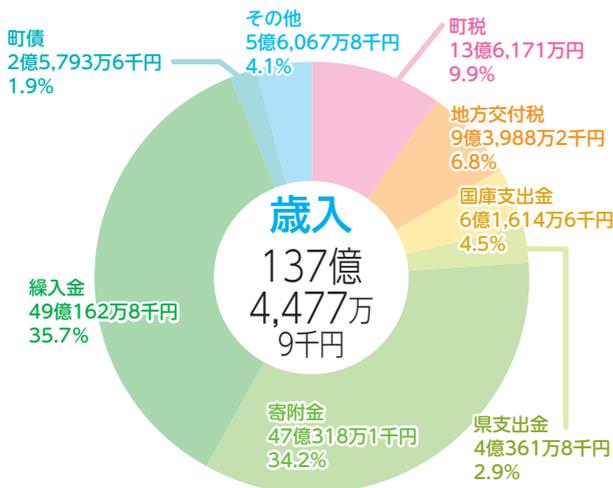
氏名 平川 利彦
年齢 63歳
任期 下津毛
地区 下津毛
期日 平成29年4月1日から平成33年3月31日まで

全員同意

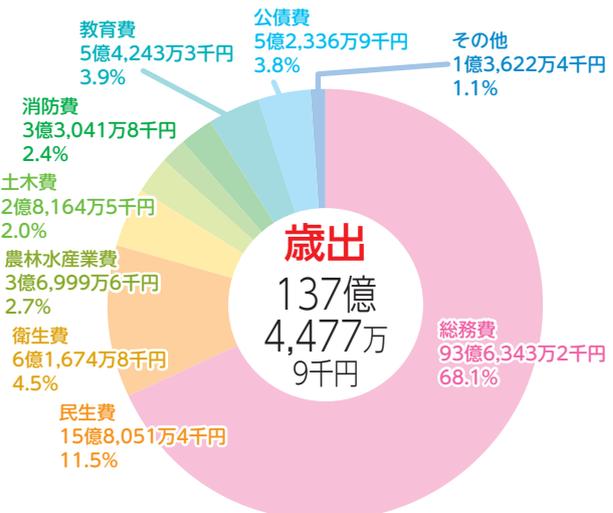
平成28年度 補正予算

35億2,984万2千円増額して、総額137億4,477万9千円となる。

一般会計



本会期までの累計



※町債とは借入金、公債費とは借入金の返済金です。
※国・県支出金は補助金です。

歳入補正予算の主なもの(増額のみ)

- ◎地方消費税交付金 1,190万円
- ◎ふるさと納税寄附金 21億円
- ◎ふるさと寄附金基金繰入金 14億3,898万9千円

歳出補正予算の主なもの(増額のみ)

- ◎ふるさと納税謝礼 11億8,365万2千円
- ◎ふるさと納税関連通信運搬費 1,848万円
- ◎ふるさと納税ポータルサイト利用料 7,447万5千円
- ◎基金積立金
 - ・ふるさと寄附金基金 21億203万9千円
 - ・公共施設整備基金 1億25万4千円
- ◎保育所運営費 1,256万円
- ◎町道用地買収に伴う補償費 1,200万円
- ◎町民センターホール用空調設備更新工事 3,500万円
- ◎米多浮立会場周辺用地購入費 1,255万5千円

特別会計

国民健康保険特別会計	3,750万5千円を増額し、11億1,758万円となる
後期高齢者医療特別会計	55万9千円を増額し、9,661万8千円となる
農業集落排水特別会計	160万5千円を増額し、5億3,540万5千円となる

予

平成29年度

算特別委員会 審査報告

平成29年2月10日の本会議において、本委員会に付託された議案第10号、平成29年度上峰町一般会計予算について、2月13日、14日、15日および16日の4日間にわたり委員会を開催し慎重に審議いたしました。

質疑終結のあと直ちに採決を行った結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、審議の過程での主な意見および要望は次のとおりです。

【総務課】

Q 人事評価制度運用について、平等性に基づいた人事評価を行うこと。

A 「上峰町人事評価制度マニュアル」を十分理解し、公正かつ適材適所の人事を行っている。

Q 防災行政無線戸別受信機の取扱いについて、利用者への周知を行うこと。

A 防災無線用戸別受信機の設置の推進および取り扱いの周知に努めていく。



防災無線用戸別受信機

【財政課】

Q 通学福祉バスの老朽化が進んでいるため、安全面の確保に努めること。

A 修繕、点検等を迅速に対応したい。

Q 庁舎屋根の劣化が進んでおり、早めの対策を検討すること。

A 防水・防食塗装による長寿命化対策の費用算出のため、調査設計等の予算計上を検討したい。

【まち・ひと・しごと創生室】

Q 鎮西山のアスレチック遊具等の整備について、適切な管理に努めること。

A 既存遊具の安全性の確保とともに、鎮西山の観光資源としての活用の観点から再整備を検討する。



鎮西山のアスレチック遊具

Q ふるさと納税寄附金について、目標額の達成に努め、寄附金を活用した事業を明確にすること。

A 引き続きふるさと納税による財源の確保とともに、寄附金の充当事業の整理等に努めたい。

Q ふるさと回帰支援センターを活用した、町のPRに努めること。

A 同センターを活用した移住定住促進策について検討する。

Q 国際交流について、英語圏を含めた活発な交流の推進を検討すること。

A 引き続き地域づくり事業補助金等の活用による民間団体等の交流促進に努める。

【住民課】

Q マイナンバー（個人番号）カードの利用促進および注意点についての周知に努めること。

A ホームページや広報紙を活用し周知に努め、カードの交付時には丁寧な説明を行う。

Q 野焼きの取り扱いについて、分かりやすい周知を行うこと。

A ホームページや広報紙を活用し周知に努め、現場での指導にも対応する。

【産業課】

Q 今後の農業経営について、新たな営農体系が確立できる環境整備に努めること。

A 国・県の施策に対応しながら環境整備に努める。



耕作放棄された農地

Q まちづくり実行委員会イベントについて、規模の拡充を推進すること。

A 広報等に努め、集客増加を図る。

【建設課】

Q 町営住宅および駐車場使用料の滞納については、住宅運営委員会において対策を講じること。

A 滞納者と密接に連絡を取り合い、分納誓約など個別徴収に努め、適切に対応する。

【生涯学習課】

Q 町民センターおよび体育施設の利用促進の周知に努めること。

A 広報紙等で幅広くPRを行う。

Q 中央公園グラウンドについて、点検を行い適正な管理に努めること。

A 再点検を行い、適正な管理に努める。



中央公園

Q 体育施設の月曜日の開館を検討すること。

A 利用者のニーズを聞きながら進める。

【文化課】

Q 発掘調査委託費未納問題について、逐次進捗状況を報告すること。

A 訴訟の経過等進捗状況を注視し、逐次報告する。

Q 文化財発掘調査の取り扱いについて、周知を行うこと。

A 町ホームページ、広報等にて積極的な周知に取り組む。

【教育課】

Q いじめ等の未然防止のため、学校側との連携を密にすること。

A 情報共有等連携を密にし、いじめ等の未然防止に努める。

Q 中学校吹奏楽部の楽器について、老朽化しており買い替えを行うこと。

A 老朽化している楽器について順次買い替

えを行う。

Q 中学生のヘルメットについて、自転車用ヘルメットへの切り替えを検討すること。

A 中学校にて検討する。

Q 学校給食調理業務委託について、町内から参入できるような契約方法を検討すること。

A 既に文部科学省が定める「学校給食衛生管理基準」に従って学校給食調理等業務を実施できる事業者を町内外から広く募集している。

（少数意見）学校給食費補助金について

学校給食費補助金4,200万円が計上されているが、長期的な観点から健全な財政運営に支障を及ぼしていく恐れがあり、完全無料化からでなく、一部無料化等から段階的な補助が適切である。

また、補助金に関する事前説明が不十分であり、補助金の取り扱いが不透明であるとともに、今回の当初予算は、骨格予算計上として、新規事業は除いた予算計上とすべきである。

平成29年 第1回定例会・第1・2回臨時会 議案賛否表

議案番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			向井正	吉田豊	田中静雄	碓勝征	漆原悦子	井上正宣	吉富隆	大川隆城	原田希	寺崎太彦

○は賛成 ×は反対

第1回定例会													
1	上峰町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
2	上峰町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3	教育振興基金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
4	上峰町税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
5	上峰町通学福祉バス運営基金条例を廃止する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
6	平成28年度上峰町一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	×	○	×	欠	×	○	×	○	—
7	平成28年度上峰町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
8	平成28年度上峰町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
9	平成28年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
10	平成29年度上峰町一般会計予算	否決	○	○	×	○	×	×	×	○	×	○	—
11	平成29年度上峰町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
12	平成29年度上峰町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
13	平成29年度上峰町土地取得特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
14	平成29年度上峰町農業集落排水特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
15	上峰町防災行政無線施設（同報系）整備事業の請負変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
16	上峰町教育委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
17	上峰町教育委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
—	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
—	予算特別委員会審査報告書	否決	○	○	×	○	×	×	×	○	×	○	—
第1回臨時会													
18	平成29年度上峰町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第2回臨時会													
19	上峰町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
20	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
21	平成29年度上峰町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

*議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数のときは議長が裁決権を行使します。（過半数議決の場合）

平成29年2月定例会 平成29年度一般会計予算、否決!!

今回、一般会計予算が歳入、歳出それぞれ、109億2,669万2,千円計上されましたが、議案審議、討論、採決の結果、賛成4、反対5、で否決されました。それぞれの討論内容は以下の通りです。

反対 吉富 隆議員

反対の立場で説明させていただく。
1点目、給食費無料化について、12月定例会でも申し上げたが、段階的にやるべきだという判断に至った。平成28年9月定例会の途中に新聞で無料化のことが知った。何らかの形で議会に対し説明があるものと思っていたが、何の説明もなく12月定例会で予算計上がなされていた。綿密に協議をして、スムーズにいくよう要望していたが、これもまた何の報告もない。

今回の2月定例会は、町長選前なので、骨格予算だと思いがさうであれば、ここに予算計上するのはいかななものかと考える。

もう1点、ふるさと納税の関係で、これまで2,400万円で一部委託されていたものが、当初予算では1億600万円に膨れ上がっている。内容は理解をしたが、40億から45億

のお金を動かすところを丸投げという形はいかななものか。上程前に議会との協議をさせていただきたいと12月定例会から要望してきた。返礼品のチェックについても、昨年6月、9月、12月、そして今議会も質問を出した。

やはり、きちんとした形で納得のいく説明をしてもらえればこういう問題は起きなかったと思う。説明不足だ。

賛成 吉田 豊議員

私は、賛成の立場で討論に参加したい。

今朝の新聞報道によると、みんなの声代表から、昨日寺崎議長へ「1、129人分の給食費無料化実現を求める賛同者の署名を提出された」とあった。私が想像するに、2月10日の補正予算可決の報道の折に、「否決もあり得る」との報道がなされたことに伴い、危機感を持たれた児童、生徒の保護者の皆さんが上峰町議会に対して小中学校の給食費無料化実現に向けての署名活動をなされた結果ではないかと思う。10日余りでこれだけの署名が集まるということ、時間をかければ町民のほとんど

の人が無料化を望まれていると判断すべきである。財政的にも問題はないうという執行部の説明もあっている。町民の代表で組織されている町議会は町民の声を真摯に受けとめるならば、全員賛成で議決されるべき案件であると判断し、私は賛成する。

反対 田中静雄議員

この原案については反対の立場で討論させていただく。昨年の12月定例会でも発言したが、町民は長い間辛抱、我慢を重ねてきた。

住民が、要望を出しても仲々受け入れてもらえない、先へ進まない。先ずは住民が今まで、長い間辛抱してきたことから穴埋めしていくことが先決だと思ふ。しかしながら、他の市町でも学校給食費の無料化が、これからも進んでいくと思ふ。

そこで他の市町に遅れをとらないように私は段階的な無料化の方向で取り組んでもらいたいとの要望を重ねてきた。以上の理由から、一気に完全無料化の方向には反対の立場である。

賛成 碓 勝征議員

私は賛成の立場で討論する。

今回の特別委員会の中で財政的な問題、それから、段階的にやるべきじゃないかという議論等々あったが、この財政問題については、公表されているとおり町債の問題、基金、公債比率の問題、それから将来比率の問題を見て、まさに財政健全化に達していると理解している。

そういう中、先ほどあったように署名が出されている。千何百名の方が切実な思いで給食費無料化については願望されているということも報道された中身なり、今いろいろあった中で理解した。

給食費無料化することにより家庭の経済的な緩和にもつながり、学力向上にも必ずや、つながると理解をする。今回の基金の額を見ると、報告により、3月までには45億円程度の寄附が集まるというふうなことも聞いており、この寄附の取り扱いについては、5割のお返しをするなり、送料込みの6割前後等々あるし、寄附された中身について

ては、寄附者の願いである教育、福祉、地域環境、それに町長お任せ等々に投入できる大きなふるさと納税と思う。この財政問題についてはしっかり後押ししていることを考えていくと、今回の平成29年度予算については、ぜひ、前に推し進めてもらえればと考えている。

反対 原田 希議員

そもそも、町長の改選直前ということを考えれば、今回の平成29年度当初予算については、新首長のもで行うという考え方で当然、骨格予算であるべきだ。

今回提案の予算について町長は、追い炊き予算と言われるが、肉づけの予算と同様で新規の政策的な経費が追加された予算編成となっている。追い炊きならば6月の補正でやるのが自然ではないかと思うし、また新規の政策的な経費の部分についても、政策的な議論が不十分。もっと多様な視点で議論が必要だと思う。

今回、政策的議論を必要とす

る経費を除いた人件費等の最低限必要な義務的経費を計上する、そういう骨格予算であるべきだと考えている。また加えて、ふるさと納税業務委託料については、詳しく説明をいただきたいので金額の増額は理解するが、業務委託を受けている業者が返礼品も納入されているという回答があった。返礼品の納入業者が納税業務を請け負って他の返礼品納入業者の選定までされているということであれば、これについてはもっと協議が必要ではないか。

賛成 大川隆城議員

賛成の立場で発言する。給食費無料化の件はこれまで予算の面でも余力が出た中から継続実施可能であり、負担軽減した分で色々と教育面の充実につながり、また子どもは町の宝という考えに沿って子育て支援の強化により他地区からの人口流入増も期待できるし加えて町民から無料化を願う声がわずか10日間くらいで千百数十名の署名が集まったことでもいかに切望され

ているかの証しである。現在少子化の影響はそうまでないが将来的にはその傾向が予測されるので今のうちに対策を講じたいとしての無料化の提案であるので、是非実現すべきことだと判断する。

ふるさと納税に関する件で28年度の40数億円については総て委託業者への丸投げだとの意見があるが、その対応については許容範囲内であり、額的には27年度の倍以上となり、取扱い件数も25万件以上であり遅滞なく対処するための専門的な人を増員するために費用を増額したもので、その結果スムーズな対応により40数億円のふるさと納税としての成果が上がったということだ。今後においても担当課はもちろん委託先の職員それぞれがチェックすべきはきちんとチェックし、各方面に十分配慮しながらさらに納税額が、その成果が向上するように努力してほしいと思う。

一般質問

そこが聞きたい！

滞納問題について

町税全体の徴収率の向上につとめる

問 個人および法人税は1〜20番までは、4,200万円では、566万5,000円であり町全体になると、大きな金額になる。町の財政にも大きな影響があり担当課においては、今後も努力をお願いする。

答 税務課長 平成29年度については、滞納縮減にむけて努力する。



吉富 隆 議員

ふるさと納税について

引き続き積極的に取り組む

問 平成28年度、1年間の寄付の金額は、45億と聞いています。12月の1カ月では、寄付者は、10万件あり金額は、18億2,000万円であり、その寄付金が本町の貴重な財源であり、また返礼品の調達および配送の遅れはないか。

答 創生室長 受託業者と関係者と連携を密にして努力をする。

問 返礼品については、肉が一番人気商品であり、佐賀牛および上峰牛は、返礼品に登録されているか。

答 町長 現在、上峰牛というブランドは、今はないので、返礼品に使用していない。

問 ネット上では、上峰牛をPRしているのではないか。

答 町長 上峰牛をPRするような掲載はされていないと思う。誤解を招く表現がある動画、あるいは、キャプションの表記については、直ちに訂正を指示する。

問 今後については、ふるさと納税、返礼品については、佐賀牛および上峰牛を消費していただくと同時に上峰肉の商店にも一部委託をお願いする。

答 創生室長 今後については、担当課で協議する。

町長の言動について

誤解を招かないよう答弁に努める

問 町長は、本議会の中で、私に対して、予算書を見ていないとか、財政には理解が全くされていないと発言されている。また、職員には、課長に対して、中学生の能力しかないと言われている。町長の言動について、本当に許しがたい問題だと思っている。

答 町長 給食費無償化の文脈で、議員はふるさと納税が下支えしていると、ふるさと納税が財源のような表現をいつもされるので、ふるさと納税は財源に充てていないと、財務活動のキャッシュの部分で、1億1,000万円、借金の償還。ピークから押し下げた中から、4,000万円を今回子どもに振り替えさせていた。きたいという表現をした。議員はしっかりと解かっておられるんだらうけれども、理解をしていただけなので、興奮した状態でこのような表現をさせていただいた。

地域再生計画の進捗は

来年度、道の駅基本構想および計画

問 地域再生計画には具体的な地域活性化事業が盛り込まれ、道の駅事業が主体事業となるわけだが、国への申請計画は。

答 創生室長 道の駅に関して基本構想、基本計画の策定を考え、具体的な内容を煮詰めていき、策定の中で財源確保の一つの方策として、地域再生計画を検討し、必要であれば認定申請を行う流れになる。

ており、大分煮詰まっている状況かと思っていたが。

答 創生室長 もう少し早い時期を示していたが、道の駅整備の財源としては、企業版ふるさと納税もあるが、ほかにも各庁の補助金や、地方創生の交付金のメニュー、また、民間資金の活用策等もあり、財源の選定については、来年度になると思っている。

問 この地域再生計画は昨年から話が出るのか。

答 道の駅を主体にした総合的な取り組みなのか。

答 創生室長 他自治体の例を見ても、道の駅にさまざまな公的施設をあわせて整備しており、

そういったものも含めて検討していきたい。

イノシシ被害対策は

わな免許取得の推進、補助の検討

問 最近各地でイノシシの生息数が増え、本町の山間部においても被害が絶えず、また、1月には日中に古墳公園周辺の人々の往来の多い場所に出没するなど、住民に危害がおよぶ危険性もあり、何らかの対応が必要だと思つが。

答 産業課長 外記の溜池周辺に出没しているイノシシの件だが、数カ所に巣を発見することができており、1カ所だった箱わなを東西2カ所に設置し、加えて

た。巢にいたことを確認できれば、イノシシ用の犬での駆除ということも、猟友会の方で考えている。

問 今後の駆除対策として、箱わな免許取得費補助も含め、行政・猟友会・地域の皆さんとの連携が必要では。

答 産業課長 猟友会、鳥越地区と一体となり対策を進めていき、また、わなの軽量化、わな免許取得費補助、職員の免許取得についても検討していく。

トレイルラン大会の準備は

3月26日開催

問 3月26日開催というのだが、大会開催案内等の状況は。

答 創生室長 町の広報紙2月号で案内しているが、かなり身体に負荷のかかるスポーツなので、基本的にはスポーツショップやトレイルラン協会のネットワークが募集経路かと思つている。

なお定員は75名を予定している。

問 住民の皆さんにもどんなスポーツ大会か、知ってもらふことも必要では。

答 創生室長 チラシ作成、立て看板等の用意も含め、認識してもらえようやっていく。



3月26日に開催され、元気にスタートする参加者

ほかに
○デマンド型交通の概要について



向井 正 議員

一般質問



田中 静雄 議員

人口減少対策の取り組みは

基本構想の策定を円滑に進める

問 町内に永住するためには働く場所が必要で、「雇用促進の町」としての取り組みはどうか。道の駅構想、農業関連技術拠点、バイオマスエネルギー産業誘致、農産物加工施設等の進捗状況はどうか。

答 **創生室長** 新規就農者を生み出す先進的農業人材の育成に取り組み、儲かる農の上峰塾を開催し、人材育成に取り組む。多様な業態の企業の

誘致を進める必要があり基本構想を円滑に進めるための準備をしている。

問 上峰町を囲む周辺の市、町は目に見える形で企業が進出している。我が町も遅れないように積極的に取り組んでほしいが。

答 **町長** 企業誘致は本町としても進めていく。農業関連産業の分野にぜひ来ていただきたいということだ

ICT関連企業にも準備を進めている。

中学校周辺の駐車場整備の考えは

引き続き維持管理に努める



中学校体育館北側駐車場

問 中学校周辺の駐車場は毎週土・日曜日は満車状態になる。また、体育館北側の駐車場は雑草が生え、降雨時は足元が悪い。舗装、排水対策等の整備をしてほしいが。

答 **教委事務局長** 舗装の計画は持っていない。今後、砂利

問 飽和状態を解消するため新たに駐車場の確保する考えはないか。

答 **教委事務局長** 駐車場の拡張、また新たに確保する計画

はもっていない。不足する場合は庁舎周辺、中学校グラウンドを利用するよう案内している。

学校給食費の未納対策は

学校、PTA、教育委員会と協力し取り組み

問 給食費未納者に対しては地域の保護者が集金していたが個人情報保護法とかで取りやめになった。現在は未納者がいる状態だが、滞納者が出不来よう対策を立て実行するのは教育委員会のつとめと思うが。

答 **教育長** 学校が集めているお金で私会計である。教育委員会が所掌していることでもない。学校、PTA、教育委員会と協力しながら取り

答 **教委事務局長** 二年度の振替でも納められない場合は納付書を同封し、直接農協で納めていただく。また督促状を送り、債権の確認と納付計画書の提出を通知する。

要望 学校給食は教育の一環であることは認識している。給食費未納0件に向けて取り組んでほしい。

ほかに ○ふるさと納税について

保育料の減免はできないか

減免は行っている

問 現在は85%、それ以上の減免を望む。

答 住民課長 平成29年度案として、国では段階的無償化を計画している。

問 国の計画内容は。

答 住民課長 現在の基準(案)は町民税非課税世帯の第2子以降は無料、年収360万円未満世帯の負担軽減、ひとり親世帯の軽減措置をさらに拡充する。二人親世帯でも360万円相当の所得割課税額でも4段階判定分離して年齢撤廃による負担額の減免等

が検討されている。

町としても、子育て支援法による教育、保育に係る利用料金の減免措置の動向に注視していく。

問 国以上のさらなる充実を求める。

答 住民課長 町単独の利用者負担軽減については、財源負担も伴うので、財政課とも協議し段階的に見直しを行うよう今後検討をする。

問 町単独の軽減も今後検討するか。
答 住民課長 おっしゃるとおり。

要望 町長も8年間町民にガマンを強いてきた。「今後は町民サービスを進める」との

意向を公言した。今後、各課長は町長に要望して実現するよう努力して欲しい。

出生記念品贈呈は

県内実施市町村はない

問 実現町村の有無を聞いているのでは無い。

答 住民課長 安価でも、上峰町で届けられる保護者に記念品として喜ばれる贈答品がないかを調整中である。

要望 所得の多少にかかわらず、親の喜び

は一緒である。全ての議員が、子どもは町の宝であるという認識は同一である。少々予算が多く必要になるかも知れないが佐賀県で一番いいじゃないか。他町より、一歩前に出る、ということとは、こういうことだ。

敬老祝金の復活を

節目節目で支給中

問 今日の上峰町を築き上げられた先人の功績に感謝する気持ちは無いのか。

答 健康福祉課長 生産労働人口層と総人口は減少傾向にあ

る。一般的には歳入減になっていくことが予想される中では、現状から縮減をせず、維持できるように努力したい。

介護保険負担割合増の改正阻止は

立法府である国の権限である

問 介護保険制度の負担割合増の改正阻止は。

答 健康福祉課長 立法機能の有する国会の権能である。地方自治体の私どもは、法律内容に対して粛々と業務を行うのみであると解している。

問 私は介護保険を使うことのないような健康な老人をつくるための「施策を何か考えろ!!」とやっている。市町村は、国の下請け機関では無い。2000年の法改正で国と地方は同等の地位となっている。

答 健康福祉課長 ストップアップ方式で、体の機能の状態に応じたメニューをつくり実施している。国と地方の立場は対

等である。まさにその通り。昨今では国の決めたものに対して、いろいろ異議を唱える場も活発化している状況である。



予防・健康増進プログラムの様子

ほかに

- 西峰東西3号線の進捗は
- 西峰東西4号線の舗装は
- 防災マップの進捗は
- 海拔表示の看板は



吉田 豊 議員

一般質問



原田 希 議員

会議録の中身が分からない

教育委員会のやり方

問 教育委員会の会議録が町ホームページに掲載されているが、会議の中でのやりとりが全部省略されている。これが会議録といえるのか。

答 教育長 省略されているとの議員からの話だが、こういうやり方が上峰町の定例教育委員会での会議録ということをご理解いただきたい。

問 あまりにも中身が分からない。これでは会議録といえないと思うが。

答 教育長 それは、教育委員会のやり方ということをご理解いただきたい。

返金の進捗は

2月末をめどに

問 平成27年12月16日から平成27年12月18日までの3日間、異物混入の関係で給食が停止された。この分の給食費返金の進捗は。

答 教育長 現時点で2人の方と連絡ができていない。2月末をめどに進める。

理は今教育委員会、教育長の名前でしている。本来は、学校側に通帳がないといけない。教育委員会は協力をしているということ。

問 実際、学校はこれまで1円も扱ってきてない。説明責任は教育委員会にあると思うが。

答 教育長 学校給食実施に関する規則では、会計は学校の流れになっている。

答 教育長 監査については、確かに管

問 返金に関しては、給食の会計年度は終わっている。監査はどう受けたか、決算はどのように報告書を記載されたのか。

問 今まで学校給食運営委員会の中で、教育委員会が決算書

を作成して、小・中学校長が監査をしている。学校の流れになっているといわれるが、学校で通帳も持たないのに、決算書を作成できるのか。

答 教育長 教育委員会に通帳はあるが、それをもって教育委員会がやりなさいということではないと思う。平成27・28年度の決算については、とにかく町で作成するということが今動いている。あと監査を受けて報告する。

問 お金の管理があまりに不十分。学校や保護者と連携を取り合う学校給食運営委員会も開かれていないようだが。

答 教育長 平成28年度から、民間委託ではあるが自校式となった。今までは、町の共同給食センター等の共同調理場のものなので、今現在、運営委員会は開いていない。

問 平成28年5月に、28年度の給食費の金額を知らせるプリントが教育長名で、学校給食運営委員会として出されているが、これはどういうことか。

答 教育長 これは、学校給食運営委員会という形で、教育長となっているので、その通帳から出しているというふうな。

中学校周辺の駐車場は

新たに駐車場確保計画はない

問 イベント等の時、止める所がないような状況なので駐車場を確保できないか。

答 教委事務局長 今後について検討事項として前向きに検討する。体育館の周辺、中学校体育館の

北側、役場の駐車場、役場の南の駐車場、すばやく上峰の駐車場等、3・4名車に乗っていたら2,000名の方が応援に来て大丈夫だと思っっている。

ふるさと納税の返礼品は

返礼品の数としては現在400

問 返礼品の中に上峰の特産品が少ないと思うが。

答 創生室長 できる限り上峰町産のものも返礼品として採

用したいと思っており、町内で生産されたものであるか、町内の事業者から調達できるものを扱っている状況だ。

道の駅の計画は

来年度・基本構想計画

問 まだ基本コンセプトの段階だということか。

答 町長 現段階では基本構想計画策定における条件等の確認や整理を行っており、来年末をめどに作業を終え、来年度、基本構想計画の策定に速やかに着手できるように準備する。

問 創生室長 場所的に取得できる可能

性があるか、また整備手法の選択肢として町が直営でやるのか、直接発注をするのか、あるいはPFIであるとか、PPPであるとか、そういった公民連携であるとか、あるいは民間の資金、ノウハウの活用ができるとか、今そういった前提条件の確認をしている。

国際交流での意志疎通は

EメールやLINEを使って

問 大神中・高等学校との交流は大丈夫か。

答 教委事務局長 今年来ていただくこ

とになっている。礼節を重んじた国であるので丁寧にお迎えする。

井柳川の災害対策は

下流域から浚渫

問 満潮時に天端まで、60cmから70cmぐらいうがってきている。それに集中豪雨が重なった時や、活断層が活発化して地震が起きた時などを考えると心配でならない。

答 建設課長 昨年6月22・23日に豪雨が発生し、時間雨量63ミリ、その際にも堤防からすれすれみたいなところで、越水までいかなかった

が、そういった状況だった。河川事務所があるが、その中でも井柳川のポンプ場が毎秒5tを城原川に排水稼働されており、昨年は1回、13時間の稼働であった。今後、筑後川河川事務所や土木事務所ほか、関係機関と密接な連携を取りながら災害に備えた体制づくり等を図っていく。



井上 正宣 議員

一般質問



浚渫が待たれる井柳川の川床



大川 隆城 議員

給食費無料化を是非実現へ

子ども達に給食を無償で提供したい

問 財源の件、給食費滞納の件等整理すべきは整理しないといけないがどうか。

答 町長 財源は償還力性が増し、サービースに拡充できる余地、1億1,000万円のうち4,200万円を継続して提供する。滞納整理は私会計方式の中でその情報処理を学校長にお願いするよう教育委員会に動いてもらうように指示したい。



給食の調理風景

要望 子どもは町の宝、その健全育成のため他町に先がけて是非給食費無料化を実現してほしい。

農産物の複合栽培を推進せよ

J A、普及所と連携し進めていく

問 米麦大豆栽培から他の野菜栽培も可とするフォアアス整備が成された今、計画的な複合栽培推進により農家の収入増を図るべきではないか。加えて補助事業ももちろんだが各種制度資金の有効利用もPRすべきだ。

答 産業課長 隣町にJ Aのカット野菜（玉ネギ）工場、漬物工場（白菜）ができるが、市場の動向、ニーズについてはJ Aが把握されており農家に指導してもらい、制度資金については広報等でPRしていく。

人事評価制度の進捗状況はどうか

平成28年10月から、業績、能力、態度の評価実施

問 年功序列主義から能力主義での評価に移行し、上司が部下を評価する時に町民の方の職員評価も加味して評価すべきだと思いがどうか。

答 総務課長 10月～3月まで半年の業務評価、4月～9月まで半年の業務評価、

そして1年間の能力と態度評価の形で年2回のスタンスで評価をしていく。町民からの意見等は対象外で、人事評価制度マニュアルに沿って業績、能力、態度での評価をするもので、求める職員像を実現するため職員一人一人の現状を知り、強み、弱みを分析し人材育成としての人事評価制度にしていきたい。

町のマスコットキャラはどうなった

構想 策定後に計画していく

問 町のPRにはマスコットキャラが必要であるとの認識のもと設定にむけ検討された結果はどうか。

答 創生室長 マスコットキャラを造るにも色々なアンケート調査等を経て何をシンボルにするか検討中。ちなみに食品販売フェアやスポーツ行事には町木

椿をモチーフにしたマークを使用し、鎮西山関連では椿をシンボルに活用する。

答 町長 町の特産品メニューの中で考える視点と町民の意見を聞き構築する視点をもちながら、タウンプロモーション構想ができた後に計画する。

ほかに 「意見箱（仮称）」の設置はどうか。町内全域から広く意見を聞くために、各地区に「意見箱」を設置してはどうか。

現在の町債高と基金高は

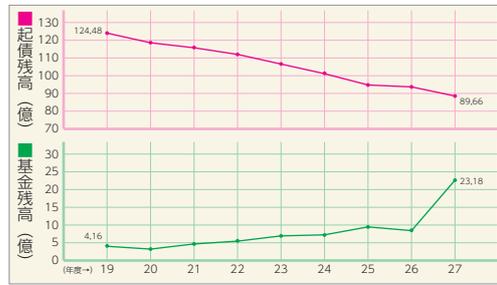
町債は41億円減で83億円!!
基金は18億円増で22億円!!

問 平成28年度決算見込みで、町債（借金）高と基金（貯金）高の残高は。

答 財政課長 町債（借金）は平成19年度で124億円から平成28年度決算見込みで83億円になり、41億円減少した。

要望 8年間経費節減等成しとげ、財政健全

基金（貯金）は平成19年度で4億円から平成28年度決算見込みで22億円になり、18億円増加した。



起債残高、基金残高の年度別推移

全化確保された。我慢いただいた町民の皆様へ遅れた住民サービスをしつかりと実行すべし。

公園の和式トイレの改良計画は

要望等をまとめ洋式化に向け検討

問 公園利用者が和式トイレ使用時に不便をきたすとの声を聴く。下水道整備された今、洋式化は常識だ。

答 住民サービス提供する上で、和式から洋式への切替は当然だと考える。強く要

望する。

答 財政課長 各課管理公園の屋外トイレ（和式）の利用について、高齢者の皆様等に不自由かけぬように要望等をまとめ洋式化に向けて検討する。

イノシシ対策は

箱わな等設置

問 去る1月16日の真昼間にイノシシが出没し、非常に危険状態にある。町民の不安を解消する対策は。

答 産業課長 その後、3度ほど出没した情報がある。捕

獲に向けて、外記ため池東面に箱わな2カ所、くくりわな2カ所設置した。

要望 町の中心市街地に出没した事件だ。町での定期パトロールの実施と安全安心確保に努めるべし。

中の尾団地東側道路側溝改良は

今後予算措置へ向け検討

問 大雨時に国道より中の尾団地東側道路側溝へ雨水が流入し、宅地内は勿論、道路冠水状態になる。

答 建設課長 大雨時に国道よりの流れ

込みで、はけない状況は把握している。水路環境を広げること、多額の予算になる。

2年くらい前にも議員から指摘を受けている。今後予算措置に向けて検討を是非行う。

中学校西の民地境崩壊状態対応は

排水問題含めて整備計画を行う

問 中学校西側の民地境付近が崩壊状態にあり危険を感じているとの声を聴く。

答 教委事務局長 法

き、崩れている。排水問題を検討し、整備計画策定を行う。

ほかに
○中央公園の管理用具の適正活用は。



碓 勝征 議員

一般質問



漆原 悦子 議員

ふるさと納税

制度の効用を最大化するのが務め

問 昨年12月末に返礼品として上峰牛が

全く使用されていないとの肥育部会の声がテレビ放映されたが、その後の現状は。

答 創生室長 生産者からJA指定の食

肉センターへ出荷があれば、上峰牛を指定して調達が可能との返答をいただいているので、春から夏を目途にふるさと納税業務受託業者・JA・流通販売事業者等の関係者と協議を

していく。

問 返礼品の流れ、チェックはどうか。

答 創生室長 寄附はトを通じて受託業者が確認し、指定された品を返礼品業者へ

発注、寄附者へ配送という流れになっている。一連の手続きは配送の確認まで、寄附者の管理システムで町・受託業者がリアルタイムにチェックができるように

なっている。また、町は月に一度提出される受託業者からの業務報告書・返礼品業者からの請求書および内容明細書で確認を行いながら業務を遂行している。

問 返礼品リストの中にインターネット

掲載分（上峰産チーズタルト・上峰豚など）と違う商品名があるがなぜか。

答 町長 上峰をPRしていくことでのような状況が生ま



ふるさと納税返礼品パンフレット

れた。ふるさとチョイスの掲載基準に違反するものでないということであれば、他の自治体同様の取り扱い方でいきたい。

また、返礼品競争の是正の基準は総務省が設けるべきであるし、各ポータルサイトが設けるべきである。その制度の中でプレーヤーとして最大限、効用を最大化することが務めであると考えている。

町長のマニフェスト

50%カットは3年間実施

問 昨年の12月議会に

おいては議会議員の費用弁償を改正する条例案の提出で、行政および町民の皆様には多大なる御迷惑をかけたしまい申し訳ありません。

この件は議員全員で協議、全員一致し決定した案件で、この所管が総務厚生委員会に附属すること、ただ単に委員長である私が提案しただけのことだったが、報道等も含め、誤解を生むようなことになり全員で協議の上、撤回をしたところである。

議会議員のそれぞれが有権者の皆様から押し上げていた

いており、行政府と立法府の違いも明確にあるわけであるから、誇りと責任を持つて発言をし、行動もしなければいけないと思っっている。

町長の50%給与カットは、私が知る限り、平成21年度60万3,000円、平成22年度から平成24年度35万5,000円、現在は70万9,000円となっているが。

答 町長 50%カットは実施したが記憶にないので報告で済ませたい。

ほかに

- 副町長問題
- 滞納問題
- 高齢者支援

議長挨拶

議長 寺崎 太彦



うららかな春の日差しが心地よい季節となりました。

はじめまして、昨年の8月に、議長に就任いたしました。

平成29年度一般会計予算当初予算額が109億2,669万円、前年度と比べて約128%（平成28年度予算額85億807万円）と大幅増となり、町としては、予算規模が大き

くなったことは、町として余裕ができました。予算規模が大きくなったのは、「ふるさと納税」が増加したためです。全国に「ふるさと納税」が浸透し、平成27年度は約20億円、平成28年度は約44億円（町部門全国1位）と全国から寄附金が集まり、今年は、全国の自治体間の競争が激化し、上峰町も今まで以上

にPRの努力をしていかなければなりません。

議会としても、財政改善が目に見えてきて、事業の執行状況をチェックしていきますので、町民の皆様のご指導をよろしくお願ひします。



議長交際費の支出状況 (平成28年度下半期)

区分	支出金額	支出内容
会費	5,000円	上峰町遺族会懇談会
//	5,000円	三神地区環境事務組合懇親会
お礼	6,480円	振興常任委員研修受け入れ先へ
//	6,480円	総務厚生常任委員研修受け入れ先へ
合計	22,960円	

議会を傍聴してみませんか

毎回、町民の皆さまに議会を傍聴していただき、ありがとうございます。

次回の定例会の会期は、6月9日（金）から16日（金）までを予定しています。

一般質問は12日（月）および13日（火）の予定です。詳しい日程は町ホームページでご確認ください。



平成29年第1回臨時会が3月3日に開催され、平成29年度当初予算が議案審議、討論、採決の結果、全員賛成で可決されました。

町道補修等工事 3,162万5千円



町道八枚坊所 新村線舗装工事 2,540万円

ふるさと納税 業務委託料 1億650万2千円

ふるさと納税の返礼品発送業務委託。

防災行政無線 保守点検委託料 296万円

会計別予算

会計名	予算額	
一般会計	109億2,669万2千円	
特別会計	国民健康保険	10億5,844万4千円
	後期高齢者医療	9,576万4千円
	土地取得	1万4千円
	農業集落排水	5億2,083万3千円
	特別会計合計	16億7,505万5千円
総合計	126億174万7千円	

基幹系システム クラウドサービス 利用料 3,663万5千円

鎮西山樹木管理委託料 1,000万円



平成29年 第1回臨時会

平成29年度 一般会計予算

109億2,669万2千円

学校給食調理業務委託料

2,970万



入学祝金

220万円



子どもの医療費助成

3,860万円

対象者は18歳まで。



ICT推進員 配置事業 委託料

396万4千円

ICTを活用した授業の支援、機器のメンテナンスなど、ICT機器の利活用等推進員を配置。

病後児保育事業補助金

240万7千円



認定こども園開園に伴い病後児保育補助。

平成29年

第2回臨時会で

決まりました

こんなことが

3議案が可決！

平成29年第2回臨時会が3月31日開催され、一般会計補正予算（第1号）として3,100万円計上され、議案審議、討論、採決の結果、全員賛成で可決されました。また農業委員会関係の定数条例も可決されました。

農業委員と農地利用最適化推進委員の役割

< 農業委員 >

- ①農地法に基づく許認可業務
- ②農地等の利用の最適化の推進に関する指針の作成・見直し
- ③農用地利用集積計画の決定
- ④農地転用許可にあたっての具申すべき意見の決定
- ⑤農地の利用集積に関する話合いの推進
- ⑥農地の利用状況調査、利用意向調査
- ⑦遊休農地対策に関する方針の決定・実行
- ⑧無断転用に関する方針の決定
- ⑨新規参入等に関する情報の収集
- ⑩その他、農業委員会で必要と認められる事項

< 農地利用最適化推進委員 >

- ①農業委員会総会において推進委員としての意見を述べる
- ②農地の利用の最適化の推進に関する指針を踏まえての現場での活動
- ③農地の権利移動等に関する現地調査等
- ④農地の利用集積に関する話合いの推進
- ⑤農地中間管理機構との連携活動
- ⑥農地集積を推進するための農地の出し手・受け手の掘り起こし活動
- ⑦農地の利用状況調査、利用意向調査
- ⑧遊休農地の発生防止・解消に向けた現場活動（所有者への働きかけ等）
- ⑨無断転用撲滅に向けての周知活動と是正等の現場活動
- ⑩人・農地問題解決に係る重点区域等への支援
- ⑪その他、農業委員会で必要と認められる事項

農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）の改正により農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるもの。

農業委員会の委員及び
農地利用最適化推進委員の
定数条例

全員
賛成

◎農業委員の定数

6人とする。

選出方法

町長が議会の同意を得て任命する。

◎農地利用最適化推進委員の定数

4人とする。

選出方法

農業委員会が委嘱する。

平成29年度 **補**正予算

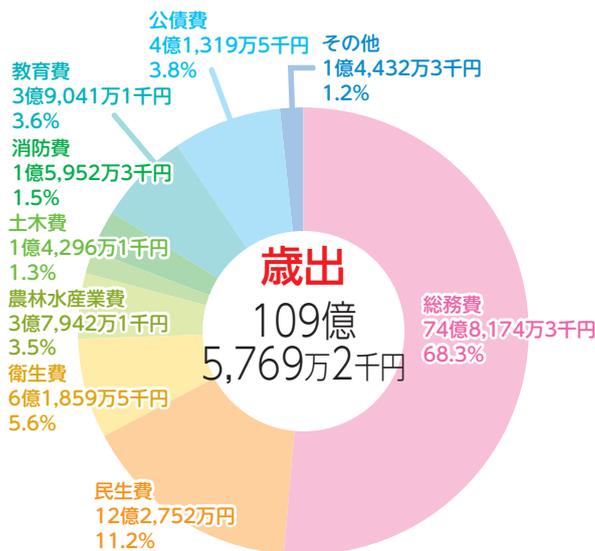
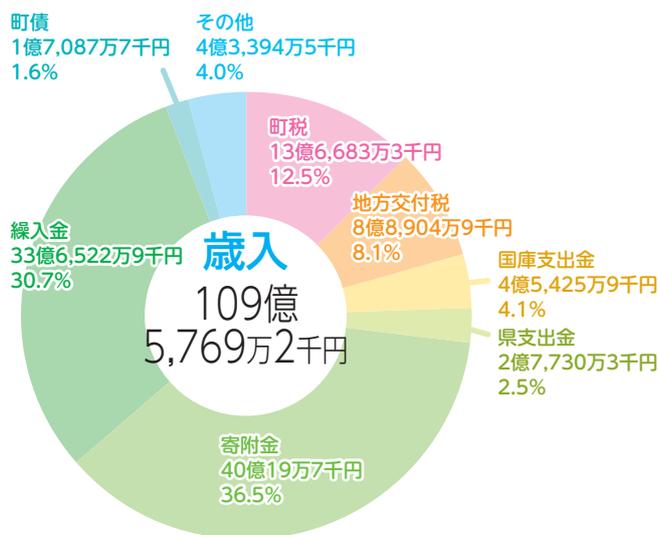
3,100万円増額して、総額109億5,769万2千円となる。

一般会計

歳入補正予算の主なもの(増額のみ)
 ◎財政調整基金からの繰入金 3,100万円

歳出補正予算の主なもの(増額のみ)
 ◎道の駅基本構想策定委託料 3,000万円
 ◎道の駅関連旅費(関連省庁打ち合わせ等) 100万円

本会期までの累計



※町債とは借入金、公債費とは借入金の返済金です。
 ※国・県支出金は補助金です。



町の活性化にむけて「道の駅」基本構想策定に取り組みことになりました。平成29年度末までに基本構想を策定し、平成30年から実施設計へ、とのタイムスケジュールに沿って商業地域の再開発と併せて「道の駅」基本構想の策定を早めに取り組むために外部コンサルタントに委託するものです。

「道の駅」基本
 構想策定に
 3,000万



がんばれ! 上中 部活動紹介 8

女子卓球部

顧問 新開祐二・千住 浩

主将 鶴 美咲

副主将 中埜美月

私たち女子卓球部は、現在、2年生6名で日々の練習を頑張っています。

私たちの目標は「県中学校総合大会」に団体で出場することです。格上の相手にも勇気をもって当たり、たとえ負けていても最後の1点まで諦めずに勝つ気で挑んでいきます。メンバーの中には、九



州大会にも出場する実力者がいますが、団体では未だに公式戦で勝ったことがありません。チーム全体で、技術面・体力面・精神面のレベルアップを図っていきたく考えています。練習中にとってもきつくなり、やめてしまいたいと思うこともあります。でも、そんな時には、仲間が励まし支えてくれます。どんなときでも笑顔をお忘れなく、楽しく愉快的なチームです。

これからも、仲間たちと心で支え合いながら、一歩ずつ前に進んでいきます。地域のみなさんの応援をよろしくお願ひします。



行事への参加

1月～3月

- 1月4日 上峰町新年賀詞交歓会
- 1月8日 上峰町成人式
- 1月15日 消防団出初式
- 2月1日 郡内全議員研修会
- 2月26日 上峰幼稚園音楽発表会
- 3月10日 上峰中学校卒業式
- 3月17日 上峰小学校卒業式
- 3月30日 認定こども園かみみね幼稚園落成式



▲上峰小学校卒業証書授与式

あつがき

新年度を迎え、新たな環境で生活をスタートされた方々も多いと思います。

町内では、新しく2園の認定こども園が誕生しました。

若い世代の割合が多い町にとって、このような基盤が整備されるのは喜ばしいことだと思います。

多様な意見から一つを導くことの難しさ、またそれを限られた紙面で伝えることの難しさを、編集の度に痛感していますが、分かりやすく読みやすい紙面づくりに、これからも努力していききたいと思います。(原田)

議会だより

広報編集委員会

- 委員長 大川 隆城
- 副委員長 田中 静雄
- 委員 原田 希
- 委員 吉田 正
- 委員 向井 正